

フリーバッグ

【お手入れ方法】

ご使用前に、防水スプレーを塗布すると汚れがつきにくくなります。

- 汚れは濡らして固く絞った布でふき取ってください。
- 濡れた場合は、しわを伸ばして風通しの良い所で日陰干しをしてください。
濡れたまま他の物と擦れると色移りする場合がございます。
- 鍋類が熱いままバッグに入れると燃えや焦げの恐れがあります。
- 火元の近くに置かないでください。引火の恐れがあります。

濡れたまま放置するとカビの発生や、型くずれする場合があります。

長期間使用されない場合は、風通しの良い場所で保管してください。